

## 地域ケア会議人材育成研修 ～地域ケア会議に必要な視点と OT 参画への今後の課題～

茨城県作業療法士会  
理事 イキイキ地域づくり事業部長  
細田忠博



### はじめに

地域ケア会議には、①個別課題の解決②地域包括支援ネットワークの構築③地域課題の発見④地域づくり資源開発⑤政策の形成という5つの機能があります。

市町村によって地域ケア会議の名称は様々です。基本的には地域包括支援センターが主体となって開催をしています。茨城県内では、地域リハビリテーション活動支援事業として、各市町村にPT・OT・STの担当者が配置され、行政との窓口となって活動を行っています。また、茨城県リハビリテーション専門職協会がコーディネーター機能を持ち、各市町村からの依頼によりリハ専門職を派遣しています。県内の市町村にはリハ専門職が派遣され、地域ケア会議に参加しています。

茨城県作業療法士会では、地域ケア会議に作業療法士が参加するための人材育成研修を、独自に開催しています。研修会修了者には、「地域ケア会議認定ファシリテーター」と「バッジ」が授与されます。平成29年度より開催し現在までの修了者は、25名となっています。

来年度以降も継続して開催をする予定となっているため、会員の皆様にはぜひ参加をお願いしたいと考えています。よろしくお願い致します。



### 研修会の目的

- ・ 各市町村が開催する地域ケア会議に、茨城県作業療法士会会員の参加を促進する。
- ・ 地域ケア会議は、設置範囲によって3つのレベルに分けられ、その各々に作業療法士が積極的に参加出来る体制を構築していく。
- ・ 地域ケア会議に参加し、作業療法の視点から対象者が、自立していくための生活プランを提案出来る人材を育成する。

### 研修内容

開催頻度：年に1回 1日6時間 参加費：無料

- 1) オリエンテーション（地域ケア会議における作業療法士の視点等）
- 2) 地域ケア会議について（地域ケア会議の概論、ケアマネジメントについて等）
- 3) 実践者による地域ケア会議の実情報告（茨城県内の実態について報告）
- 4) ワークショップ（事例を元に模擬ケア会議実施）



第1回



第2回

<研修会の様子>